



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2023～2024 年度 高山中央 RC 会長テーマ

親睦～例会に出席しよう～



世界に希望を生み出そう

◆会長 岩本 正樹 ◆幹事 長瀬 栄二郎 ◆会報委員長 井ノ下 雄志 ◆会報担当 鷲塚 英雄

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1343 回	56 名	56 名	41 名	——	73.21%
前々回 1341 回	56 名	56 名	42 名	4 名	82.14%

### ●点 鐘

### ●ロータリーソング

それこそロータリー

### ●四つのテスト

### ●会長の時間

会長 岩本 正樹

皆さんこんにちは、早いもので今年も 12 月に入り、残り 1 ヶ月を残すのみとなりました。私もクラブ会長に就任させて頂きもう 5 ヶ月が経ちましたが、先日の地区大会をもちまして、なんとか主要な行事を曲がりなりに消化する事が出来ました。これも皆様のご協力の賜物と深く感謝を申し上げる次第でございます。正直少しホッとして気が抜けた感が出てしまっておりますが、そう言いましてもまだ 7 ヶ月も残っております。これから先も油断せずにクラブ運営に取組んで参りますので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。



話は変わりますが、なにか最近巷では、高山市民みんな一緒になって風邪をひいている様な感がございます。この時期は特に人が集って、交わればどうしてもうつしうつされ、感染のリスクは非常に高まると思いますが、そこは美味しいものを沢山食べて、良い睡眠をしっかりとって、楽しい趣味や遊びを沢山して、ストレスを感じる事無く、免疫力をマックスに高めて頂いて、この冬を乗り越えて頂ければと思います。ですので楽しい事があれば、いつでも誘ってください。いつでもどこでもついて参ります。

さて、本日の例会ではロータリークラブ定款の定めによります年次総会を開催いたします。まず今年度の中間会計報告をさせて頂き、その後に大事な大事な、次年度理事役員を選出がございましてのでどうぞよろしくお願いいたします。その後

には、研修委員会担当の I DM報告がございまして。今年度は 2 回の I DMを計画しておりますが、1 度目を先日 11 月 8 日 水曜日に山陣にて行ないました。会長幹事、清水委員長を始めとする委員会メンバーがレクチャーする側として参加する中、新会員の村井さん、藤野さんに向けての I DMでございました。詳しい内容につきましては、この後の報告でお話があると思っておりますので、私からはこの辺に致しまして、今日はせっかく I DM報告の例会でもありますので、私のロータリーに対する持論と言いますか、考え方を少し話させて頂きたいと思っております。

私はこのクラブに入会させて頂き 19 年になりますが、前にも話させて頂きましたが、入った当初の私は一に金儲け、二に金儲け、三にゴルフで、ようやく四に家庭みたいな男でありました。それと今でもそうなのですが、自分の考えを人に主張することが大変苦手で、とても引っ込み思案な性格なので、できたらこっそりとひっそりと、穴でもあったら入っとりたい人間でありました。しかしそんな私の性格を見切ってでしょうか、剣田さんや島さんを始めとするクラブの先輩方は、色々な親睦活動を通して上手に付き合ってくれ私を導いてくださいました。私が早い時期に退会する事も無く、今こうしてここにいるのも、そうした親睦活動を通してできた絆があつての事だと思っております。度々話させて頂いておりますが、今年度会長をさせて頂いて、クラブ運営にとって一番必要な事は会員増強と会員維持だと痛感しております。せっかく入ってくれた会員が早期に辞めていくことを極力少なくしていくためには、やはり入会直後からの親睦による信頼関係づくりが不可欠だと、私のロータリー経験をとおして実感しておる次第であります。ロータリーに対する知識を深めるのは、そうした会員相互の信頼関係構築後でも全然構わないのではないかなと私なんかは思うのです。こ

んな私でもこうして皆さんの前で少しは能書きを喋れる様になったのですから。

最後に篠原ガバナーの説かれた言葉を引用して会長の時間を終わらせて頂きます。「日本で大切にしてきた”ロータリー観”と”ロータリアン同士の親睦”を基盤に、立派なロータリアンを育てながら、価値ある奉仕活動を通じて、立派なロータリアンを育てることがとても大切であります。～ロータリーは『親睦・学び・成長・奉仕』です。～とても良いロータリー観だと感銘致しております。ありがとうございます。

＜幹事報告＞ 幹事 長瀬 栄二郎

◎R I 本部より  
・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より  
・ガバナーナイト in シンガポール開催のご案内

◎ロータリーの友事務所より  
・2022-23 年度事業報告書

○上野ロータリークラブより  
・インターアクト年次大会報告書・大会 DVD

＜高山市憲章推進協議会より＞  
・文化講演会のご案内  
講師：寺尾直樹氏(NHK まるっと気象キャスター)  
テーマ：今年の気象から見る災害への備え  
日時：12月23日(土)  
会場：高山市民文化会館小ホール

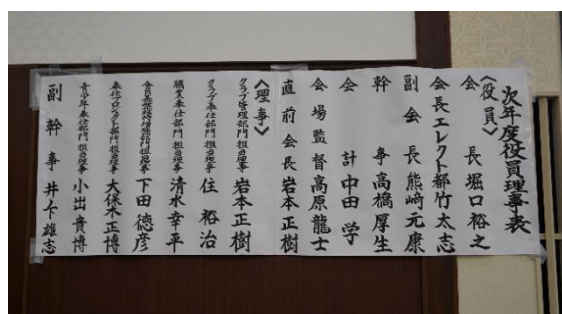


＜年次総会＞  
中間会計報告

会計 足立 常孝



次年度役員理事の承認



＜IDM 報告＞

研修委員会 委員長

清水 幸平

11月8日(水) 18時から、山陣にて IDM 及び懇親会を開催しました。出席者は、新会員の村井繁喜さん、藤野直裕さん。岩本正樹会長、長瀬栄二郎幹事。田中雅昭担当理事。委員会メンバーの清水幸平、中田専太郎、劔田廣喜、大保木正博、山本辰男。事務協 河上美幸。計 11 名でした。会長挨拶、IDM 開催の趣旨の話の後、劔田さんの「ロータリーとは何か」というお話を伺いました。また会長経験者である委員会メンバーから、「心に残るロータリー体験」を話していただきました。懇親会では、新入会員と会長、幹事、委員会メンバーとが親しく歓談し、楽しい懇談会となりました。参加された皆様に感謝申し上げます。



「Informal Discussion Meeting」に参加して 藤野 直裕

11月8日(水) 18:00 より「山陣」にて「IDM」が開催されました。「IDM とは入会間もない会員に向けての勉強会の場」とのことでした。

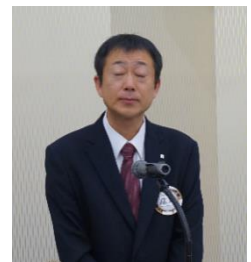
参加者は、岩本会長、長瀬幹事、担当理事の田中雅昭さん、委員会の清水さん、中田専太郎さん、劔田さん、大保木さん、山本さん、事務局の河上さん、新会員の村井さん、私の計 11 名でした。

まず、岩本会長より、ロータリーの歴史についてお話をいただきました。ロータリーの誕生とその成長については、シカゴのポール・ハリスと、今から 118 年前の 1905 年にシカゴ・ロータリークラブが誕生したことを押さえておくこと、そして日本のロータリークラブについては、102 年前の 1920 年に創設された東京ロータリークラブがわが国最初のロータリークラブであることなどをお話いただきました。

次に清水研修委員長より「IDM」開催の趣旨についてお話をいただきました。清水委員長には 11 月 8 日の日にち設定の調整をいただき感謝いたします。続いて研修委員会メンバーの中田専太郎さん、大保木さん、山本さんより心に残るロータリー体験のお話をいただきました。

最後に研修委員の劔田さんより「ロータリーとは何か」についてスライドを上映しながらお話をいただきました。

・ロータリーの根幹はサービス



- ・ロータリーとは人をつくる団体
  - ・ロータリアンはつくられるものである
  - ・本質は人づくり、人づくりは自分づくり
- これらの言葉が心に残りました。

このあと懇親会に移りました。私は翌日修学旅行の添乗業務のため、お酒を一滴も飲まずに途中で退席しました。とても残念でしたが、このような新会員に対する手厚い研修・懇親会の機会を頂くことができ、とてもありがたく思いました。

私自身 4 月からこの高山に単身赴任で参りまして、7 月より高山中央 RC に入会させていただきました。まだまだクラブのことを何もわかっておりませんが、皆様からお声をかけていただいたり、旅行の申込をして下さったりと本当にありがたく思っております。

今後もロータリークラブ発足の趣旨である、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたいという思いで、この高山中央 RC で出会った皆様とのご縁を大切にしまいたいと存じます。新会員である私は、「誰もが初めから立派なロータリアンではない」、新会員のあなたは「ロータリーを学び」そして「ロータリーで学ぶ」という言葉を胸にロータリー活動に取り組んでまいります。

最後に「今日からロータリアン」の冊子の裏面に書いてあります「ロータリーの 10 徳」です。

1. 交流関係が広がる
2. 常識が広がる
3. 行儀がよくなる
4. 朗らかになる
5. 社交的になる
6. 顔に品が出てくる
7. 几帳面になる
8. 話題が豊富になる
9. 健康になる
10. 家族が喜ぶ

ロータリアンになるとこうなれるんだと思うと、とても楽しみです。

皆様、今後ともよろしくお願い致します。

## 研修委員会 委員長

清水 幸平

11 月 8 日開催の IDM 報告をし、新会員の藤野さんに発表をしていただきました。

その後、ラーニングについて説明をさせていただきました。

ロータリーの友 8 月号 40 ページ エバンストン便りを参照してください。

ロータリーにおける学びのアプローチは、研修モデルからラーニングモデルに移行しつつあります。これは、参加者を活動の中心に据えるという RI の行動計画の目標の一環であり、会員自らが積極的にラーニング(学び)に関与し、それを自らコントロールできるようになることを意味します。また、ロータリーにおけるリーダーの役割は、会員の知るべき情報を教える「講師」ではなく、会員がアイデアを共有できるよう導く「ファシリテーター」としての役割を担うことを意味します。

ロータリーの友 11 月号 20 ページ 座談会「トレーニングからラーニングへ」を

参照してください。

Train は訓練をする。Learning は結果を求める学びです。トレーニングには、二つの大きなポイントがあり、一つは知識・情報の豊かな人が、そうでない人にしっかりと指導する。もう一つは教える人が聞く人に対して、その心に訴えインスパイアする。これに対しラーニングというのは、学ぶ側の気づきが最優先です。今後は、トレーニングとラーニングの併用により、より学習効果を上げることが期待されます。

## &lt;12月のお祝い&gt;

## &lt;会誕生日&gt;

該当者なし

## &lt;夫人誕生日&gt;

熊崎 元康	陽子	12月 1日
中田 専太郎	和子	12月 9日
渡辺 修治	珠恵	12月14日
下田 徳彦	尚子	12月16日
住 裕治	かおり	12月16日
村井 繁喜	智子	12月18日
大保木 正博	寿美代	12月23日

## &lt;結婚記念日&gt;

高殿 尚 H15年12月 6日

## &lt;ニコニコ BOX&gt;

お待たせしました、作日開かれた、高山カントリークラブのハンディキャップ委員会において、私今井がシングルプレイヤーとして認定されました。これに奢ることなく更に精進いたす覚悟です。記念コンペを開催させて頂く際にはお声かけ致します。これまでと変わらぬ叱咤激励と分厚いご祝儀をよろしくお願い致します。

今井 哲也

ニコニコの協力をお願いします。 周 信夫

本日、早退させていただきます。

下田 徳彦 西倉 良介